

公益事業・地域貢献活動

■ フリースクール ふりすくスコラ生駒を開所



放課後等デイサービス事業ぷろぼのスコラの活動において、特別支援の対象の方で不登校になった方のご相談を受けることが増えてきました。その対処として、特別支援の対象の方の方向けに通える学校以外の場所を設けることを目的に「ふりすくスコラ生駒」を開所しました。プログラムはご本人やご家族と相談しながら進めています。特別支援教育や障害福祉に詳しいスタッフが対応しています。

■ 再生パソコン海外寄贈



再生パソコンの海外寄贈に取り組んでいます。連携させていただいているNPO法人Class for Everyone代表高濱様より寄贈先の情報が届きました。＜お便り抜粋＞前回ご寄贈いただいたパソコンなのですが、一部をナミビア共和国の小学校に届けております。ナミビア北部にあるンタラという村の小学校で、JICAの青年海外協力隊員の元、パソコンなどの技術支援、算数科の授業改善、または教師の指導力向上のために活用されます。

■ 生駒市第11回花と緑の景観まちづくりコンテストでまちづくり賞を受賞



テクノパークぷろぼの生駒では、生駒市からの委託を受け事業所前の花壇の管理をしています。そのご縁から、毎年「花と緑の景観まちづくりコンテスト」にも参加しています。令和元年度第11回コンテストでは、「まちづくり賞」を受賞。「花のまちづくりセンターふろーらむ」で開催された授賞式では、花壇づくり中心メンバーの楠井さんが代表で列席致しました。

主な講演活動

第34回日本保健医療行動科学学会学術大会特別講演 (2019/6/23)

奈良春日野国際フォーラムで日本保健医療行動科学学会学術大会が開催され、特別講演「健康障がいとともに生きる当事者をささえる」に理事長山内が登壇致しました。

2019年障がいの働く場パワーアップフォーラム大阪 (2019/8/23)

ヤマト福祉財団パワーアップフォーラム大阪の事例発表に理事長山内が登壇。「経済的自立力を備えた新しい福祉を目指して」を全体テーマとして、「「プライドのある自立」ぷろぼのが目指す人づくり」と題し、利用者だけでなく職員の教育についても講演させて頂きました。

令和元年度九州社会就労センター（セルブ）研究大会記念講演

(2019/11/1)

「こんな職場でながく働きたい ぷろぼのが目指す人・組織・地域づくり」をテーマに、理事長・山内が登壇。継続事業の利用者だけでなく、支援する職員や組織、地域との連携などについて幅広く講演させて頂きました。

奈良女子大学第17回研究フォーラム (2019/11/8)

奈良女子大学研究フォーラム「身体性メディアの可能性」が開催され、ソフトバンクグループの人型ロボット「Pepper」(※)を活用した働き方について、3Rマテリアルセンター所長田村が事例紹介を致しました。
※ぷろぼのはソフトバンクグループ株式会社のPepper社会貢献プログラムのソーシャルチャレンジに参加しています。

第27回 職業リハビリテーション研究実践発表会 (2019/11/18～19)

「障害福祉サービスを活用した卒業就労者の就業生活支援」をテーマに、スコラ生駒室長・藤田が、ぷろぼのワークス（自立訓練のプログラム）の取り組みについて講演、「アナログゲームを用いた就労特性のアセスメント」をテーマに、スコラ南京都（旧 京田辺）室長・橋本が、プラスゲーム（就労移行支援のプログラム）の取り組みについて講演を行いました。

第12回 とちぎ就労支援リハビリテーション講習会 (2019/12/14)

『在宅訓練・在宅就労』をテーマに、北海道・栃木・奈良・福岡からの4事業所にて、トークセッションを行い、テクノパークぷろぼの生駒所長・川端が参加。在宅の訓練や就労についての意見交換、課題提起等を行いました。

法人主催講演等

■ ちょっとしたことでも上手に働く働き方セミナー

(2019/6/7, 9/9, 11/16, 2020/3/6)

障がいのある方を雇用する企業へのサポートを目的に、雇用実績のある企業や雇用を考えておられる企業へ向けた情報発信の場として開催。

■ 発達障がいのある大学生・短大生のための

就職準備セミナー (2019/8～9)

奈良県発達障害者支援センターでいあー様との共催で奈良県内の大学・短大に通う学生向けに、夏休み期間中に開催。ビジネスマナーや企業見学、履歴書の書き方などを体験習得頂く、全4回のセミナーと就労移行支援での職場体験実習を実施。

■ 障害者雇用促進セミナー「奈良医大の事例に学ぶ」

奈良県立医科大学法人企画部人事課 障害者雇用推進マネージャー 岡山弘美様と就労中の当事者様を迎えての対談。弊法人磯野から障害者雇用の現状について紹介。(2019/07/26) 岡山弘美様を迎え、弊法人藤原がナビゲーターを務め、障害者雇用の課題や意見を率直に語り合う座談会を開催。(2020/1/31)

■ 19歳の障害年金講座 (2019/6/7)

社会保険労務士・行政書士増田繁事務所の増田先生をお招きし、障害年金やその申請から申請後の対処について講演会を開催。

■ 障害者ワークフェア2019に参加 (2019/11/16)

2019年度アビリンピック全国大会(愛知県)に併設された障害者ワークフェアに参加。障害のある方の仕事のサポートとなる「目線コントローラ」の体験やあしすと阪急阪神様での実証実験の動画を紹介させていただきました。ブースでは、法人で、栽培から加工・販売を行っているよもぎ商品も展示。ITもあり、農福もあり、法人の幅広い活動を知っていただく場にもなりました。



見らくしよし「ぷろぼの」

日頃は私どもの「福祉」活動にご理解とご協力をいただき感謝いたします。

古都奈良は「福祉」の発祥の地であり、近年は大阪や京都の郊外地として歴史文化と共に、子育てに最適な地域になっています。

ぷろぼのは、創業15年になり時代の要望に応じて、障害者の新しい働き方を創造するために、ITやICT、IoT、RPA、テレワークなどの先進的な福祉支援で、就職後も長く働ける社会人スキルや職業技術の向上に取り組んできました。

また、奈良は農業が盛んですが、高齢化により休耕農地が増

えましたので、東吉野村で「奥大和よもぎ」を栽培して食用やお茶、浴用の商品づくりも始めています。

新型コロナウイルスでStay Homeになりましたが、テレワークで福祉支援の質が担保されるように職員も利用者も頑張ってくれています。

わたしたちの「福祉」活動に興味や関心をお持ちの方は、お近くにお越しの際は、ぜひ「ぷろぼの」にお立ち寄りください。～見らくしよし～の気持ちでお待ちしております。



放課後等 デイサービス

就職準備は学生の早い段階から



令和元年度利用者数:のべ **1,077人** 月平均 **90人**

スコラでは、「楽しく社会人スキルを学ぶ」をテーマにキャリア教育支援を実施しています。職業適性や社会人マナーだけでなく、働くための意欲や目的といった部分も知ることで、高校卒業後の進路の幅を広げていただければという思いで取り組んでいます。令和元年10月からは、少しでも早い段階からの支援を目的に、全てのぷるぽのスコラで中1から利用いただけるようになりました。プログラム内容については、これまでと同様に年齢だけでなく発達段階に応じた支援を実施していきます。また、保護者や地域の方々に当事業のことや障害児支援、福祉制度について知っていただく機会として、昨年に続き、スコラ講演会や障害年金講座を開催しました。スコラ京田辺は令和2年4月に移転し、スコラ南京都(京都府相楽郡精華町祝園西)として、引き続き地域の支援に取り組んでいきます。

自立訓練 (生活訓練)

就職準備性を高める為に



令和元年度利用者数:のべ **462人** 月平均 **39人**

自立した生活をする力や社会性、自己肯定感を身につけ、働き続けるために安定して生活できることを目指して頂く事業です。働くための準備をゆっくりと取り組みたいという方向けの「ワークライフクエストコース」、就労経験があり復帰を目指すうえで準備を調えたい方向けの「就職準備コース」、働きながら生活の質を上げていきたい方向けの「ワーカーズコース」があります。ワークライフクエストコースの外出訓練では、サブローごまデザインコンテストというものを知り、応募された方が入賞するという思わぬ出来事もありました。多様な生き方や働き方が見つかるかもしれませんね。

就労移行支援

働きたいという思いを実現するために



令和元年度利用者数:のべ **1,173人** 月平均 **98人**

「働きたい」「働くための力をつけたい」という思いに応えるため、「自己理解」「訓練・実習」「就職活動」の三つの要素から成り立つプログラムを提供しています。令和元年度には、最近注目されている「テレワーク」に特化した訓練「ぷるぽのコベル」を開始しました。通勤という人混みの中の移動や、オフィスという緊張を感じてしまう環境は、就労のハードルが高くなってしまいがちですが、在宅の仕事であれば、持てる力を十分に発揮できる方は多くいらっしゃいます。障がいのある方の「働く可能性を拡げる」この取り組みにより、令和元年度は、6名の方がテレワーク就労に就かれました。令和2年度には、テレワーク支援センターを開設して、更に注力していきたいと考えています。

就労継続支援 (A型・B型)

多様な働き方ができるように



令和元年度 A型登録者数: **32人** 月平均給与 **13万円**
B型登録者数: **45人** 月平均給与 **3万円**

障がいがあっても配慮を受けながら働き、仕事を通して成長していける職場づくりを行っています。令和元年度の主な実績として、「奈良の障害のある人が作った商品のカタログサイト_nara temono」の制作、大阪ガス株式会社様・株式会社あしすと阪急阪神様におけるPepper(※)の遠隔操作による接客業務等、従前の成果を認めていただいた新たな業務展開を図ることができました。また、農福連携として、栽培・加工・製造・販売を一貫して行えるようになった有機もぎ製品の新企画「よもぎほうじ茶」のネット販売も準備中。働く場が、次のステージへと展開していきます。

※ソフトバンクグループ株式会社様のPepper社会貢献プログラムソーシャルチャレンジに参加しています。

就労定着支援

就職後の定着を図るために



令和元年度登録者数: **48人**

福祉サービスとしての就労定着支援事業も2年目を迎え、令和元年度は、生駒、高の原、新大宮、大和八木の4か所で事業を行いました。事業所には、ジョブコーチを配している所もあり、定期的な面談や職場訪問を通じて、この1年の職場定着率も95.8%で推移しています。企業の担当者や連携して、タイムリーな支援が出来るよう日々心がけています。また、昨年度は、長く働き続けていただくためのイメージを現役の訓練生の方と共有するための「就職支援セミナー」を実施いたしました。訓練生の方60名が、セミナーを通じてぷるぽのから就職された先輩9名に仕事を続けていくための工夫や経験談、今後の目標をお聞きしました。参加された訓練生からは、先輩方の声に励まされこれからの訓練に生かしていきたいとの声が多く寄せられました。

Events, etc...

職員研修



倫理・権利擁護・虐待防止、法令遵守、福祉制度、支援の在り方や関連する書類等々職員のスキルや知見の向上を目指し、毎月職員研修を実施しました。今年度から従来参加が難しかったパート職員やA型スタッフも参加できる機会を設けました。法人の理念を改めて理解し、事業所のビジョンに落とし込み、今後の進む道を考える研修においては、職員全員の思いが込められた充実したものとなりました。

就職支援セミナー



就職活動や就職後働きづけるうえで必要な社会性を身につけていただくことを目的に、年数回「就職支援セミナー」を実施しています。令和元年度は、「身だしなみセミナー(洋服の青山様)」「卒業生を迎えて」「アングーマネジメントセミナー」「ビジネスマナーセミナー(白坂和美様)」を開催し、働くことや働き続けることへのヒントを吸収していただきました。

ぷるぽのキング



毎年、1つのテーマに対して訓練生チームでプレゼンテーションを競い合うイベントを開催しています。発表を通じて、働く上で必要な社会性、自主性や協調性をチームで感じ、個々に学ぶ取り組みです。今年のテーマは、『SDGsの17の目標の中で、我々ができることを考えよう』。環境のこと、福祉のこと、平等について等々、社会をよりよくするためのアイデアをチームで考え、チームの言葉でまとめ、工夫を凝らした見応えのあるプレゼン大会となりました。

アバターワーク



株式会社あしすと阪急阪神様(阪急阪神ホールディングス(株)の特例子会社)のご協力をえて、阪急電鉄(株)本社ビル喫茶室で、簡単な接客を人型ロボット「Pepper(※)」の遠隔操作で行う実証実験を行い、ALSの方の目線操作でのPepperの遠隔操作による接客に成功しました。職業能力は十分お持ちでも身体がご不自由で寝たきりの方、心臓に疾患のある方、外部環境に敏感で外出が困難な方も、就労の可能性を拡げることが出来る取り組みでした。

令和元年度 就職者31名

内6名 テレワークでの就職

《主な就職先》

NTT西日本ルセント、株式会社MAD、大京フロンティア、フルックス、JA奈良、コクヨKハート株式会社、株式会社テクノプロ・スマイル、株式会社ニッセイ・ニュークリエーション、春日大社、ハートランドしぎさん、東京海上ビジネスサポート株式会社、株式会社関通、株式会社かんでんエルハート(敬称略)